

平成17年度 事業評価書

地域名	山口県周南市	選定年度	H16年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	周南市温暖化対策地域協議会				
モデル事業名	周南市地球温暖化防止まちづくりモデル事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	H16年度	環境教育・普及啓発事業として、小中学生向けの環境学習プログラム及び環境学習ゲームの検討調査を実施。また、普及啓発用リーフレットを作成。
	H17年度	環境教育・普及啓発事業として、小中学生向け環境学習プログラム及び環境学習ゲーム等を作成。また、セミナーや小学校での環境モデル事業を実施。
交付金事業	H16年度	太陽光発電等整備費補助事業として、一般家庭、公共施設等に太陽光発電設備を設置した。 県産温暖化防止製品導入補助事業として、太陽光発電式LED街灯、一般家庭への断熱工法、木質温水床暖房、窓ガラスへ紫外線・熱戦カットコーティング剤、太陽光発電利用白色LED照明、地下設置式バイオガスプラントを設置。
	H17年度	木質バイオマス混焼設備導入事業として、石炭火力発電施設への木質バイオマス混焼設備の導入した。 県産温暖化防止製品導入補助事業として、一般家庭への断熱工法を導入。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	太陽光発電設備の導入を行っているが、単に設備設置だけではなく、導入設備を活用した普及啓発を行うなど、地域内への更なる展開に努めてほしい。 省エネ設備は住み手の意識によりその効果が大きく差が出るものであり、今回の交付金事業と委託事業を連動させて、より効果を高めるような積極性が必要。 石炭火力発電施設への木質バイオマス混焼設備の導入は、市の産業として特色がある。森林国家である日本において、木質の利用はモデル性があり期待する。 ソフト事業は小中学生向けが多く、一般市民啓発の工夫の必要を感じる。									
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	<table border="1"> <tr> <td>二酸化炭素排出削減効果</td> <td colspan="2">備 考</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>312</td> <td>H16年度事業分</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>108</td> <td>H16年度整備施設のH17年度稼働実績</td> </tr> </table> <p>(目標値・実績値単位:t-CO<sub>2</sub>/年)</p> <p>太陽光発電等整備費補助事業について、公共施設(小学校)、事業所、及びデータ提供を得られた一般家庭分については、概ね目標通りの削減効果が得られている。なお、一般家庭分についてデータ未回収のものが多数あるが、効果測定は本モデル事業において義務付けているものであるため、効果測定の方法については、早急に検討する必要がある。また測定方法の見直しだけでなく、住民への啓発指導も検討されたい。 県産温暖化防止製品導入補助事業のうち、セルロースファイバーを利用した断熱工法(一般家庭への断熱工法の導入)等については、省エネ効果を把握するのに、設備導入前後の冷暖房に係る消費エネルギーを把握しているが、比較対象が適切でないところもあり、検証方法について再考する必要がある。</p>	二酸化炭素排出削減効果	備 考		目標値	312	H16年度事業分	実績値	108	H16年度整備施設のH17年度稼働実績
二酸化炭素排出削減効果	備 考									
目標値	312	H16年度事業分								
実績値	108	H16年度整備施設のH17年度稼働実績								
③経済活性化効果	県産温暖化防止製品導入補助事業のうち、セルロースファイバーを利用した断熱工法(一般家庭への断熱工法の導入)等については、環境保全効果と同様、検証方法について再考する必要がある。 交付金事業と委託事業のハードとソフトの連携でより効果を高め、経済活性化につなぐという事業目的そのものの理解を望む。									
④その他	小中学生向けの環境学習ゲームを活用して市民にどう普及啓発していくのか、継続に向けてこの事業を活かすための自主的な仕組みづくりが必要である。 石油化学コンビナートを中心に発展する都市として様々な環境対策が行われているが、市民協同の対策を積極的に取り組まれることを期待する。 木質の利用を建築廃材のみに頼らず、間伐材の利用など、森林の保護も含めて地域での検討を望む。									